

平成27年度決算報告書

貸借対照表

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日 (単位: 円)

資産の部	金額	負債の部	金額
流動資産	235,581,021	流動負債	27,176,595
固定資産(基本財産)	759,180,536	固定負債	131,757,984
固定資産(その他の固定資産)	78,690,342	負債の部合計	158,934,579
		純資産の部	金額
		基本金	158,364,434
		国庫補助金等特別積立金	278,533,087
		次期繰越活動収支差額	477,619,799
		(うち当期活動収支差額)	△ 27,858,652
		純資産の部合計	914,517,320
資産の部合計	1,073,451,899	負債及び純資産の部合計	1,073,451,899

事業活動収支計算書

(自) 平成27年4月1日 (至) 平成28年3月31日 (単位: 円)

		勘定科目	金額
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	419,847,129
		医療事業収益	11,641,874
		経常経費寄附金収益	1,230,000
		サービス活動収益計(1)	432,719,003
	費用	人件費	327,267,909
		事業費	75,247,640
事務費		53,325,336	
利用者負担軽減額		510,514	
減価償却費		28,021,410	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 10,975,287	
	サービス活動費用計(2)	473,397,522	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 40,678,519	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	326,869
		その他のサービス活動外収益	17,899,455
		サービス活動外収益計(4)	18,226,324
	費用	支払利息	1,742,625
		その他のサービス活動外費用	1,773,996
		サービス活動外費用計(5)	3,516,621
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	14,709,703	
	経常増減差額(7)=(3)-(6)	△ 25,968,816	
特別増減の部	収益	その他の特別収益	11,141,290
		特別収益計(8)	11,141,290
	費用	その他の特別費用	13,031,126
		特別費用計(9)	13,031,126
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 1,889,836	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△ 27,858,652	
繰越活動収支差額の部		前期末繰越活動増減差額(12)	505,478,451
		当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	477,619,799
		基本金取崩額(14)	0
		その他の積立金取崩額(15)	0
		その他の積立金積立額(16)	0
		次期繰越活動収支差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	477,619,799

事業実績

平成27年度事業実績は、施設入所の稼働率が93.3%、平均要介護度は3.91で、短期入所の稼働率が111.3%、平均要介護度は2.59でした。

最高齢は105歳1ヶ月、最年少は67歳7ヶ月で、平均年齢は男性が82.6歳、女性が88歳でした。法人全体で、27,858,652円のマイナス収支となりましたが、開所2年目の小規模多機能ようせいの家も地域の皆様に支えていただき、ご利用者も順調に増えています。

ご寄付・ご寄贈

国際ゾウ京都イゾウクラブ様

宮城かよ子様 中村昭子様

大西チエ子様 松本陽子様

松尾尚武様 澤田菊江様

布施英子様 大藪早苗様

井上清様

たくさんのご寄付・ご寄贈をありがとうございました。皆様のご好意に厚く御礼申し上げます。～職員一同～

ご利用者の生活

西館1F 川隅大樹

専門学校の頃、介護の大きな目標として、廃用性症候群に気をつける事や、地域と関わりについて考えていました。昨年の四月から静原寮で仕事を始めるようになって、ご利用者の車椅子の姿勢や、普段気にしていなかった日常生活の中の小さな事にも目が行くようになりました。ご利用者とかかわりの中で、入職時と比べてご利用者の想いが少しずつ理解できるようになってきたと思います。また、身体的な介助にかかわらず、疑問に思った事を先輩の介護士に尋ねたり、自分で調べたりして知識も増えていると感じています。毎日が忙しく、時間に追われることもありますが、時間内に効率よく仕事をすること、大切ですが、他の職員の方々と連携して、楽しくご利用者のお世話ができればと思っています。四月から二年目になります。もっともつと介護の知識と経験を増やして、ご利用者の生活が豊かになるように頑張っていきたいと思います。今後とも、よろしくお願いたします。



平成29年 第20号 (平成29年3月号)

〒601-1121

京都市左京区静市静原町582番地の1

社会福祉法人 松光会

特別養護老人ホーム 静原寮

TEL075-741-2866/FAX075-741-1761

ホームページアドレス <http://www.shizuhararyo.com>

E-mail shizuhararyo@kyoto.zaq.ne.jp

発行責任者/ 奥本喜裕

特別養護老人ホーム 静原寮 施設長 奥本喜裕

昨年発行された本の中に、「翻訳できない世界のことは」という面白い絵本があります。この絵本では、世界の色々な国の独特な言葉が、楽しいイラストを添えて紹介されています。例えば、UBUNTU。正しい発音は分からないのですが、ズールー語で、「本来は、『あなたの中に私は私の価値を見出し、私の中にあなたはあなたの価値を見出す』という意味で、『人のやさしさ』を表す。」と、訳語と簡単な解説が添えられています。

他にも、IKTSUARPOK (イヌイト語)「だれか来ているのではないかと期待し、何度も何度も外に出てみる事。」とか、TIMA (アイスランド語)「時間やお金があるのに、それを費やす気持ちの準備ができていないこと」、AKIHI (ハワイ語)「だれかに道を教えてもらい、歩き始めたたん、教わったばかりの方向を忘れたとき」等々、日本語のKOMOREBIや、BOKETTO等も取り上げられ、作者の言語に対するセンスを感じます。

それぞれの国の文化や風土、生活様式の違いが、国によって様々な言葉とその言葉の表す意味が形作られるのだと思いますが、様々な国の言葉や表現、またその言葉の持つ微妙なニュアンス、その国の文化の豊かさには感心してしまいます。よく日本語が、多彩で繊細な表現を持つ言語と言われますが、様々な国の言葉を見比べてみると、それぞれの言葉が日本語では表現できないような微妙なニュアンスを表現していることがわかります。

国や地域、生活習慣が違えば、様々な違った価値観や生活観、物事の捉え方が違うのが当然なのに、私たちは人と接する時、どうしても自分の生活圏の文化や様式、価値基準でその人を見てしまいがちですが、特に人に関わる仕事に携わる私たちは、そのことに特に配慮する必要があります。

福祉・介護サービスの仕事は、その歴史の中で、形態も考え方も多様に変貌を遂げてきましたが、近年サービスの利用者について、ただサービスの客体として捉えるのではなく、サービスを利用する主体として、個人の存在そのものが重視されるようになってきています。特に介護サービスで、介護保険制度が発足してかなり経ってから、個人の尊厳が強調されるようになり、介護保険法の理念にも盛り込まれるようになったのは、近い将来介護が社会的な課題となる超高齢社会に向けて、ただ効率化を求めて制度整備を行ってきたことへの一つの反省でもあったと考えられます。

とはいえ、尊厳を守る、人格を尊重する、と一言で言っても、それ程簡単なことではなく、それ相当の気付きとその人を理解しようとする努力が必要です。人の尊厳を守るとは、とりもなおさずその人の生活、生活歴や価値観、その人の世界やその人の大切にしてきた文化を尊重することに他なりません。ケアサービスでは最近、「その人らしさ」という言葉がよく使われますが、その人の世界観や価値観を理解するには、その人に関心を持って、豊かな創造力と理解しようとするたゆまない関わりが必要だということ、その関わりがあって初めて本当に人は理解し合えるのだろうということを、この本を読むと考えさせられます。

介護も、身体的なケアだけではなく人格にも関わることが増々重視されるようになってくる中で、「尊厳」を理念に謳う静原寮でも、改めてご利用者の尊厳を守るとの意味を確認しながら、より良いケアサービスの充実に努めていきたいと思っております。



西館2F

いつもお世話になり、ありがとうございます。他のフロアに比べると平均年齢の高さが目立つのが西2の伝統的特徴であります。

若さに掛けるので体力勝負では分が悪いのですが、そのところは知恵と経験と圧倒的な多弁で穴埋めし、チーム丸となり、入所者様の生活のお手伝いをさせて頂いています。

しかし、毎年平均年齢がひとつずつ上がっている現状、早期に平均年齢を下げる若い職員がチームに加わってくれないとそろそろダウンしそうな職員が多いのが心配です。その日が来るまでご老体に鞭を打ち、チームワークで乗り切りたいと思います。これからもよろしくお願いします。



東館2F

東館2フロアは、職員とパート職員が分け隔てなく意見の言える関係で、チームワークの良いフロアです。

また、ご利用者に対しても、おもいやりがあり優しい対応が出来るフロアだと思います。



西館1F

ご利用者と職員の距離が良い意味で近く、いつも和気あいあいと過ごしています。

また、ユニット一丸となって今現在行っているケアの振り返りに重きを置いており、ご利用者にとって何が必要かを常に考えながらケアに取り組んでいます。



東館1F

東館1は個性豊かな職員が集まっています。

マイペースな職員がいたり、天然ガールがいたり、ちょっとバタバタしてしまう職員がいたり、いろんなタイプの職員がいますが、ご利用者が毎日を楽しく過ごせるよう仕事をしています。

